

湘南にのみや 議会だより

今から、二百二十年ほど前、寛政九年、大津波と疫病蔓延のため多くの子どもが、その命をなくした。

病児を沖の船に乗せて隔離するしかすべが無く、命絶えていく子らを涙ながら浜辺で見送る親の悲しみは、言葉で言い尽くせるものではなかった。

これを悼んで押切の人々は、子どもの慰霊と子育て延命、厄除けを願い、この地蔵尊を建立されしものなり。

平成九年秋彼岸 記之
令和元年秋改めて記之山主



川勾地区西光寺に佇む子育て延命地蔵。伝えられる二百年以上前の悲劇に思いをいたせば、子を思う親心は時代を超えていることを知る。

時を経た現代、先進諸国は少子化対策に苦慮。我が国も政府が対策に本腰を入れるなか、二宮町議会もその窮状を訴える意見書を議員提出議案として上程。賛成多数で可決するも、意見は割れた。子宝を巡る現代の論争を地蔵尊は寛政の世から言葉なく見守る。

(本紙P7参照ください)



議会ホームページ
ご覧ください(人)

シェアにのみや 議会報告会&意見交換会

場所が変更になりました

11月7日(火) 午前10時～12時頃
於 中里防災コミセン (二宮町中里897)
11月8日(水) 午後7時～9時頃
於 役場庁舎3階第1委員会室+オンライン

お問合せは議会事務局へ

メール：gikai@town.ninomiya.kanagawa.jp
電話：0463-75-9267
主催：二宮町議会

9月定例会 (9/1～9/27)

- ◆ 令和4年度一般会計・特別会計決算 …… 2～3
- ◆ 3議員が決算総括質疑 …… 4～5
- ◆ 一般会計補正予算、契約、人事、請願 …… 6
- ◆ 陳情、議員提出議案、賛否一覧表 …… 7
- ◆ 8議員が一般質問 …… 8～11
- ◆ 温水プール廃止、委員会継続調査 …… 12

決算

令和4年度

一般会計歳入 101億2,979万円

一般会計歳出 95億8,001万円

令和4年度の重点施策（新事業）ポイント

① 生活の質の向上と定住人口の確保

注) 当初予算時の金額、千円以下四捨五入

恵まれた自然環境の中での切れ目のない子育て支援	7千65万円
主なもの	小児医療費助成事業の所得制限廃止
学校と地域の連携による子どもたちの生きる力の育成	1億5,753万円
主なもの	ヤングケアラー等に対する支援体制の強化
住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられる環境づくり	1千778万円
主なもの	高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定（令和4～5年度継続事業） 高齢者のデジタルデバイドの解消（スマホ教室の実施）

② 環境と風景が息づくまちづくり

地域資源の保全と活用による新たな町の魅力の向上	2千513万円
主なもの	観光協会の体制充実と(仮称)二宮町観光戦略の策定

③ 交通環境と防災対策の向上

新庁舎整備による安全・安心な町の拠点づくり	8千713万円
主なもの	(仮称)多目的施設の整備（令和4～5年度継続事業） (仮称)富士見が丘公会堂の整備（令和4～5年度継続事業）
自然災害に対する防災・減災対策の充実	1億4,010万円
主なもの	防災アプリの導入による町民への迅速な情報提供 消防団員の処遇改善と機能別消防団員制度の導入 救助工作車及び救助資機材の更新 消防庁舎の改修（令和4～5年度継続事業）
都市基盤の強化と町民の交通環境の向上	2億7,297万円
主なもの	コミュニティバスのルート延伸と地域公共交通の利用促進

④ 戦略的行政運営

効率的な行財政運営の推進	1億2,863万円
主なもの	自治体DXの研究と推進（担当部署の設置）
町民とともにある自治体運営の推進と職員能力の向上	27万円
主なもの	多様性を認め合うまちづくりの推進（パートナーシップ宣誓制度の導入）

審査意見

- ① 気候非常事態宣言に基づくアクションプランを早急に策定されたい。
- ② 地域公共交通は、更なる研究を進め、町民が不安無く移動できる環境を一日でも早く整備されたい。
- ③ 速やかな福祉的地域課題の解決のため、人員配置の強化も含めた地域包括ケアシステム機能の充実を図られたい。
- ④ ジェンダー平等は、学校・地域等を含めて更なる施策を確立されたい。

賛成 8 反対 4 欠席 1 賛成多数で認定

4特別会計は認定



討 論

賛成討論	反対討論
<p>「課題解決ができず、反省が生かされない町政運営は大きな問題」として反対した予算であったが、課題を抽出し対策をとる、反省を活かし次へと進める等、すべてを納得するものではないが、その姿勢を感じられたため。 (野地)</p>	<p>新庁舎整備で進捗なし、施設分離型小中一貫教育校設置の準備、弱い生活困窮者への配慮、生活道路の整備遅れ等は、町政運営上の問題。子育て支援等、諸施策を評価する。部署横断的取り組み、人の育成・配置が課題。 (渡辺)</p>
<p>コロナ禍が長期化を実感する中、新型コロナウイルスワクチン接種事業を効果的に進めた。また子育て世帯への生活支援、物価高騰対応支援等、町民の命と暮らしを守るための事業が着実に実施されたことを評価した。 (岡田)</p>	<p>再発の車検切れは不適切な管理体制継続の証。公会堂整備は事前の周知不足が基で予算時計画から変更。コロナ対策は公的負担軽減など商品券購入が難しい方への対策が不十分。小中一貫教育校は具体的な進捗が見えない。 (大沼)</p>
<p>子ども、若者をパートナーに自治を推進、にのみや学園独自の先進展開を。減災に資する気候非常事態宣言アクションに多世代参画の協働事業が展開する仕組みづくりを。ワクチン積極的勧奨はリスク情報公開の責任有。 (一石)</p>	<p>事業で余剰金が発生すると、各種基金に積立て(貯金してしまい)、町民の必要とする要望に、臨機応変に対応できない。この年も約1億2,900万円が基金に。町民は待っているのに、工夫がない。真摯に対応し、改善を。 (浜井)</p>

	区分	令和4年度	令和3年度	前年比	採決結果
昨年度との比較	一般会計	95億8,001万円	96億4,744万円	99.3%	賛成 8 反対 4
	特別会計(以下4会計)				
	国民健康保険	28億7,852万円	28億4,467万円	101.2%	賛成10 反対2
	後期高齢者医療	9億 127万円	9億 1,817万円	98.2%	賛成 9 反対 3
	介護保険	27億8,506万円	27億 1,773万円	102.5%	賛成10 反対2
	下水道事業	8億4,106万円	8億9,392万円	94.1%	賛成10 反対2
	歳出決算合計	169億8,592万円	170億2,193万円	99.8%	

- ⑤ 減災・防災に関しては、各課連携のもと町民とともに計画立案を図りたい。
- ⑥ 子育て包括支援は、発達支援等の専門性を高めるとともに、施設整備を含め更なる推進を図りたい。
- ⑦ 生涯学習は、子どもたちの居場所づくり他、重層的な課題解決となるよう制度設計をされたい。
- ⑧ 東大果樹園跡地活用については、町民や関係者で将来の可能性・体制面を含めた検討会議を行い、丁寧な取り組みをされたい。

(仮称) 多目的施設整備費を削除した議会提出「修正予算」から始まった令和4年度。

●第5次総合計画「まちづくりの方向性」

以下事業を中心に質問

〈生活の質の向上と定住人口の確保〉

- 子育て支援
- 子どもたちの生きる力の育成
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 小中一貫教育校「にのみや学園」
- 人口ビジョン

〈環境と風景が息づくまちづくり〉

- 新たな町の魅力
- 環境にやさしいまちづくり
- タクシー活用による吾妻山送迎
- 二宮町観光戦略

〈交通環境と防災対策の向上〉

- 新庁舎駅周辺公共施設再編計画
- (仮称) 富士見が丘公会堂整備
- 小児病院跡地
- 海岸浸食対策
- 葛川河川整備事業

〈戦略的行政運営〉

- 自治体デジタルトランスフォーメーション
- 町長退職金廃止
- 会計年度任用職員待遇



無所属

一石 洋子 議員

危機の時代こそ課題解決の
レジェンドに挑戦を！

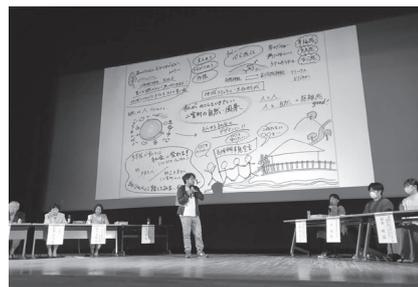
Q 子どもの権利、教育の革新、新庁舎含む公共施設再配置、気候非常事態にかかる土壌の学び、崩落、海浜の減少と河川のリスク、重層的課題にSDGsの本旨である変革に向けて公の可能性を追求すべき。

A 課題持つ子どもたちの早期発見・対応に努めている。にのみや学園プロジェクトは先生、子どもたちの意識、行動に効果あり、ICT教育も個別最適な学びに成果ある。さらに学校を核とした地域づくりを進める。新庁舎計画は合意形成の学びの成果。崩落の減災、海浜にかかる情報はHPで周知する。気候非常事態宣言、子どもの権利条例は町ぐるみの共有が肝要。「子ども家族早期発達支援学会」に参加しており、一石議員が引用された「くにたちこどもの夢・未来事業団」理事長汐見氏は指南役。子どもの未来のため町がメッセージを出すことは重要だ。

Q 特に崩落減災は地域の学び場が必要。知名度が上がる二宮の特色ある住民力を生かし、協働のプラットフォームを創り、多世代の町民と幾重にもプロジェクトを展開すべき。町民活動推進補助金は協働枠が必要。東大果樹園跡地本格活用に向けて専門家入れて重層的課題解決に向けた社会資源生かす検討会議を持つべきだが。

A 町民と協働することが不可欠の町だ。

施設一体型小中一貫教育校設置研究会は有効な未来創造的な要素がある。校内フリースペースの効果も確認している。現場と丁寧に展開する。東大果樹園跡地は現在の魅力を十分に意識して活用の具体化を図る。環境基本計画に新たな柱として「活動の輪」を加えた。幅広い年代、立場の方に参画願う。



気候非常事態宣言後のパネルディスカッション多世代町民と江守正多氏

3名の議員が総括質疑

※記事は質問者から提出された原稿を基に作成しています。



無所属
松崎 健 議員

実効性のある施策により、
合理的な将来設計を

Q 人口ビジョンに示した目標（2060年に人口17,000人以上）達成により（合併することなく町単独で）行政サービスの維持は可能と考えているのか。

A 行政サービスの質の達成が目標であり、研究していくことが重要。

Q 新庁舎基本設計実施に際しウクライナ情勢を受けての建設資材等高騰を念頭に入れているか。

A 昨年に対し約3割上昇したとも言われていて、コスト削減の提案を頂いている。

Q 第5次二宮町総合計画がスタートした2013年以降、常に「観光が町の活性化に結び付かない。」ことを問題視してきた。問題解決にはインバウンドの取込みが効果的と考える。また、二宮ブランドの海外展開を推進すべきで何れも英語による交渉が必須。グローバル化を背景に子どもたちに対し「外国語によるコミュニケーション能力が求められる。」として英語学習を促すならば大人たちは前述の施策を展開させることで子どもたちに見本を示すべき。

A インバウンドは最優先ではないが観光用英語パンフ作成を含めやっていく。外国人の転入が増える中で保育園の日本語が不自由な保護者との会話に翻訳機導入のための補助金を出している。

Q 大人たちが翻訳機で会話する姿を子どもたちが見たら学習意欲低下に繋がらないか不安だ。タクシーによる吾妻山山頂案内の実証実験は令和4年度も継続しているが結果報告は。職員がカートを運転する可能性は。

A アンケート結果を踏まえ、課題を整理し、タクシー以外の手法等の検討を行う。職員が運転する可能性はない。



人口1万7千人で行政サービスは維持できるとするも、根拠は示されず



無所属
野地 洋正 議員

『努力はうかがえる』
常に反省し次につなげよ！

Q 当初予算に対し、歳入114%、歳出108%の増、依存財源も54.3%と膨らんだ大きな要因は。

A コロナ対策事業費増が大きい。依存財源である国・県の交付金・補助金は、今後も積極的に獲得し活用していく。

Q 「にのみや学園」開校にあたり準備は。

A リーフレット作成、子どもへのアンケート等準備を行ってきたが、町民への周知は不十分であったと感じている。また、一色小卒業生の進路については、従来通り二中、西中へ分かれて進学すると結論づけた。

Q 役場新庁舎建設、予算削除された(仮称)多目的施設、小児病院跡地活用の各事業の進捗は。

A 果樹公園取得については来年度県が不動産鑑定を行う。(仮称)福祉会館として、一体的活用を示せたことは、当初予算から削除された結果と受け止めている。小児病院跡地は興味を示す業者も出てきており、期待感はある。

Q 退職金廃止に向けて成果と今後は。

A 町長退職金廃止については、退職手当組合の理解は得られず正直厳しい状況。

Q コミュニティバス、デマンド型バス、タクシー助成・・・高齢者等の移動支援については。

A 交通不便地域の解消、福祉的移動手段の確保等、課題解決に向け、次期「地域公共交通計画」を、協議会で検討中。

Q 葛川溢水対策について

A 現地測量、基本設計は終了したが、JR高架部分の課題解決に向けて、さらに協議が必要。貯水池の実績としては、令和4年ラディアンテニスコートで1.5mを観測した実績がある。



福祉的「デマンド型バス」の調査・研究を急げ！

補正予算

※千円単位四捨五入

令和5年度

●一般会計補正予算 第4号 (議案第47号)

歳入歳出予算にそれぞれ3億6,229万円を追加
歳入・歳出総額…99億1,845万円
主な歳入…各事業の執行額確定によるもの。
主な歳出…財政調整基金等へ積み立て。

賛成12：反対1で可決

〈賛成討論〉

新型コロナウイルスワクチン副反応アナフィラキシー以外の症状にかかる健康被害調査会が条例により初めて開催。(一石)

インボイス導入の影響緩和策、町道補修事業の債務負担行為設定などを評価する。緊急性のある生活に密着する事業の加速を求める。(渡辺)

〈反対討論〉

交付税が予算以上に入り余裕を感じるが総務建設経済常任委員会提言の農道や農業補助者用駐車場なども事業化されず残念を感じる。(大沼)

●国民健康保険特別会計補正予算 第2号 (議案第48号)

歳入歳出予算にそれぞれ3,638万円を追加
歳入・歳出総額…28億8,943万円
全会一致で可決

契約

●(仮称)富士見が丘公会堂整備工事請負契約 (議案第56号)

公募型プロポーザルによる随意契約
契約金額5,940万円
工期は令和6年9月30日まで

全会一致で可決

●二宮町立小中学校特別教室等空調機設置工事請負契約 (議案第57号)

一般競争入札により落札
契約金額1億8,128万円
工期は令和6年8月31日まで

全会一致で可決

人事

●教育委員会委員の任命 (議案第43号)

古正 栄司氏 (横浜市)

全会一致で可決

●固定資産評価審査委員会委員の選任 (議案第44号)

沓掛 由美子氏 (二宮町二宮)

全会一致で可決

請願

平成26年「恒道会」以来、9年ぶりの請願審査！

【請願第1号】

2050年CO₂(二酸化炭素)実質排出量ゼロを目指す旨を、二宮町が表明する(ゼロカーボンシティ宣言)ことを求める請願

請願者：福井 浩(富士見が丘)

紹介議員：古谷、小林、岡田、一石、渡辺、松崎

〈賛成討論5人〉

将来に向け、再生可能エネルギーの生産・利用と

ともにインフラ整備、啓発だけに終わらない目標と戦略等、待ったなしで進める必要がある。子どもたちも含めた住民参画による計画策定を期待する。

〈反対討論1人〉

ゼロカーボンシティを進めるには町民の協力が必須。宣言だけが先行しないことを希望する。

賛成11：反対1で採択

陳情

【陳情第4号】

現行の（紙の）健康保険証の存続を求める陳情

陳情者：神奈川県保険医協会

〈反対討論5人〉

デジタルDX推進を止めてはいけない。マイナンバーカードを持たない人には資格証が自動発行される。人的ミスによる不備は現在精査中。

る。人的ミスによる不備は現在精査中。

〈賛成討論1人〉

任意であるマイナンバーカードに紐付けることは理解しがたく、先進諸国においても例はない。紙保険証を継続すれば良く、必要性を感じない。

賛成3：反対9で不採択

議員提出

【議員提出議案第1号】

出産に関する費用の実質無償化を含む、更なる負担軽減を求める意見書の提出について、お金がなければ出産の選択が難しいのが現状とした上で、政府が掲げる「異次元の少子化対策」が実効性ある施策となるよう以下要望するもの。

〈要望事項〉

1. 妊産婦健診に関する自治体間の公費助成のバラツキの是正等に向けた支援を求める。
2. 出産・分娩費用の公的医療保険への保険適用の導入を含め、出産に関する支援等の更なる強化を求める。
3. 遠方への産科通院助成補助を始め、産院・産科医の拡充を含め、あらゆる可能性を検討の上、全国どこに居住していても安心して出産ができる環境整備の実現を求める。

〈賛成討論2人〉

新しい制度により経済的不安が払拭されれば、社会全体で妊産婦を支える環境が醸成できる。経済的不安が墮胎理由の多くに含まれていることも見逃せない。新型コロナ禍で想定よりも11年早く少子化が進んだ。生活現場に即した議員として、一日も早い制度変更による少子化問題解決は結果的に未来の国民負担軽減につながると考える。

〈反対討論4人〉

現在の仕組みで保険適用すると、本人も3割負担、保険加入者と町に負担が増えるため実質無償化のためには制度変更が必要だが、制度変更の中身が示されていない。

賛成8：反対4で可決

各議員の議案に対する 賛成・反対は？

		羽根かほる	小林幸子	岡田幸次郎	一石洋子	渡辺訓任	小笠原陶子	松崎健	浜井直彦	前田憲一郎	古谷健司	善波宣雄	大沼英樹	野地洋正	根岸ゆき子	結果
議員提出議案名（左は議案番号）																
1	出産に関する費用の実質無償化を含む、更なる負担軽減を求める意見書の提出について	●	欠	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願名（左は請願番号）																
1	2050年CO ₂ （二酸化炭素）実質排出量ゼロを目指す旨を、二宮町が表明する（ゼロカーボンシティ宣言）ことを求める請願	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情名（左は陳情番号）																
4	現行の（紙の）健康保険証の存続を求める陳情	●	欠	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●	●	○	不採択
町長提出議案名（左は議案番号）																
43	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
46	二宮町火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	令和5年度二宮町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
48	令和5年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	令和5年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	令和5年度二宮町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	令和4年度二宮町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	欠	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	可決
52	令和4年度二宮町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	令和4年度二宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	令和4年度二宮町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
55	令和4年度二宮町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
56	（仮称）富士見が丘公会堂整備工事請負契約について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
57	二宮町立小中学校特別教室等空調機設置工事請負契約について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
58	令和5年度二宮町一般会計補正予算（第5号）	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議案について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。（欠は欠席）

※議長は採決に加わりません。（議案第45号は、特別多数議決のため、議長にも表決権があります）

一般質問



無所属
前田憲一郎

問 二宮町の生涯スポーツ振興施策を講じているのか

答 町民の健康づくりを目指し施策を講じていく

Q 「二宮町子どもも大人も輝く心身きらり健康づくり条例」に対する考え、施策は。

A 町では、多くの事業を展開している。子どもの健康づくりに関しては、幼稚園、保育所、小学校、中学校、あるいは家庭においてさまざまな遊びや運動を通し、体力や運動能力を身に付けていくことができるよう考えている。成人の健康づくりは、特定健診やがん検診を通して生活習慣の見直しや健康的な生活習慣の維持を図っている。高齢期には、地域との交流を図りながら、健康維持に向けた取り組みが必要になってくるので各地域において地域の通いの場を開催している。

Q ライフステージごとの指針を設けているのか。

A 町では特に設けていない。

Q 指針を設け周知させていく必要があると思うがいかがか。

A 健康づくり普及委員に研修を受けていただき各地区に持ち帰り周知している。

Q スポーツを通じた地域活性化の具体的施策としてスポーツツーリズム、スポーツをする・観る・支えることにより、経済効果が生まれ、交流人口が拡大されていく。近隣自治体と連携してこのようなことに取組んでいかないのか。

A 大々的なことは難しいが、スポーツを通じた地域活性化という観点も今後意識していく。



第8回スポーツフェスティバル



無所属
羽根かほる

問 小児医療費助成制度の高校生への拡大と給食費の無償化の対象及び時期は

答 共に令和6年度4月から。給食費無償化は段階的に中学生全学年から実施

Q 小児医療費助成制度について、高校生までに対象年齢を拡大する考えは。

A 国、県に、財政措置を含めた全国、全県一律の制度確立を要望していくが、次年度中の実施に向け、引き続き検討していきたい。

Q 県内14町村のうち、中学3年生までの助成は二宮町、湯河原町のみ。取り残されている状況だ。高校3年生まで拡大した場合の年間の助成額は。

A 従来の助成額6,000万円（中学生まで）に高校生1,500万円を加えて合計7,500万円が必要となる。

Q 町長に聞く。予算の内容に子育ての柱となる施策の推進がないと何回か伝えてきた。令和6年度のどの時期に高校生までに拡大するのか。

A 覚悟を持って準備をしている。令和6年4月か

ら実施できるよう進めたい。

Q 給食費の無償化について、どのように段階的に進める予定なのか。

A 持続可能な制度にするために財源の確保が最も大きな課題。国、県に財政的な支援を要望している。

Q 小中学校9学年の無償化に必要な予算は。

A 小中学校合わせて9,150万円程度。

Q 町長に聞く。対象と時期を明言してほしい。

A 令和6年度から中学生の給食費を全額無償化と考えている。小学生は段階的に考え、引き続き物価高騰分の補助は検討する。



給食費無償化で、子育て支援施策を加速



無所属
岡田幸次郎

問 長寿の里にのみやとして老齢化を踏まえた健康づくり普及の取り組みについて

答 健康増進・健康づくり普及活動はジェンダーギャップに注視し改善を図る

Q 町民の方へ、健康管理及び健診促進事業の内容をどのように案内をされているか問う。

A 町のHP、広報や特定健診の案内に入れたり、健康カレンダーを公共施設等に置いたりしている。

Q 健康カレンダーは全戸配布にならないのか。配布して欲しい町民の声があるが、いかがか。

A 全世帯と国保加入者等を対象とする情報が混在しているので、情報を精査した後、必要に応じて広報と共に配布するなど、経費も含めて今後検討していく。

Q 健康づくり普及委員の役割の重要性について伺う。

A 地域の通いの場でタオル体操・ストレッチを行い、地域の方と協力しながら健康づくりの普及に努め、参加者、スタッフからは大変ありがたいとの声

もあり、地域になくってはならない存在になっている。

Q 町長に伺う。健康づくり普及委員の報償費に関して対価の格差を埋めていくべきであり、ぜひ次年度予算化をして、報償費、活動費という形で段階的にでも増額して、対価の改善を図るべきだがいかがか。

A やっぱり時代とともに、それぞれの委員や役員の皆さんの役目というのが変わってきているのかなと思う。それに対して報償費の見直しというのは必要だと思う。

次の方に代わっても続くような形にしていきたい。必要なことなのでしっかり検討していく。



通いの場でタオル体操を指導する健康づくり普及委員



無所属
古谷 健司

問 二宮駅南口(海側)をより明るくするために照明の設置ができないか

答 防犯上も問題であり南口の明るさを向上させるために照明の設置を検討する

Q 二宮駅北口エスカレーターからロータリー(転回場)の間に雨除けを設置できないか。

A 本来の利用方法は転回場での乗降をしないことなので、転回場周辺への雨除けの設置は難しい。

Q 二宮駅北口の障がい者用の駐車スペースに雨除けの屋根を設置できないか。(写真の囲み「赤」)

A この場所ですぐ設置するのは困難だが、課題は課題として捉えているので、駐車スペースの場所を変えとか利用状況等も含めて研究はしたい。

Q 二宮駅北口の駅エスカレーター下(2つの階段下)に、二宮町の名産品を集めた店を作れないか。

A 将来二宮小学校体育館と駅前駐車場のある場所に駅前複合施設の建設案があり、そこに観光協会及びお土産等が買える「にの屋」が移ることで、町に

来られた方々の利便性の向上がはかれる。

Q 北口の駅エスカレーター先のJR関連会社の道を、駐輪場にできないか。(写真の囲み「黒」)

A 会社に必要不可欠な道なので、駐輪場は難しい。

【要望】・防犯上、安全・安心な明るい状態となるよう、光り輝く明るい二宮駅南口をお願いします。

・転回場の柵の切れている所にだけでも雨除けがあれば濡れないのでお願いしたい。(写真の「赤線」)。

・複合施設は令和10年度中まで待たなければならない。二宮駅の北口と南口を結ぶ南北通路でお土産店を出すことを、ぜひ研究してほしい。



今回要望した駅北口の雨除け(赤線)と駐輪場(黒線)

一般質問



公明党
小林 幸子

問

本年度より始まった個別避難計画の
取り組み状況は、いかがか

答

難病の方やハザードエリア内等、優先
度の高い方から計画作成を進めている

Q 個別避難計画の取り組み状況は。

A 災害対策基本法の改正により、高齢者や障がい者など、自ら避難することが困難な避難行動要支援者ごとに、関係者と連携を取りながら作成を進めている。

Q 作成にあたっての問題点と対策は。

A 支援者を決めることが一番難しい。近隣共助がないと進まず、関係者の方にはゆっくりしていねいにご説明をさせていただき、作成を進めたい。

Q 中学生に対して、学校では特に防災意識を高めるために行っていることは。

A 年4回程度防災訓練を行っている。訓練の事前事後において、防災についての話し合いを実施し、生徒がその時の行動などについて検討を行っている。

Q ペット同行避難場所とその周知方法は。

A よりスペースのある町立体育館地下駐車場と二宮高校体育館下のピロティを優先的に考えている。周知方法は、ホームページの改定と獣医師会とも相談して良い方法を考える。

【要望】30年以内に70%の確率で起きると言われている巨大地震。高齢者等の逃げ遅れを防ぐための個別避難計画。さまざまな苦労があると思うが、早期策定を願う。

また、初めて行われたペットとの同行避難訓練。併せて多くの町民の方々に参加していただくためにも避難訓練開催時期の見直しの検討をお願いする。



ペット同行避難場所
町立体育館地下駐車場



日本共産党
渡辺 訓任

問

①二酸化炭素排出量削減策の具体化を
②子育て支援の「3つのゼロ」を

答

①目標値・計画を丁寧にすすめていく
②来年給食無償化開始・医療費助成拡充

Q 新しい地球温暖化対策実行計画での、二酸化炭素(CO₂)削減目標達成の見込みはどうか。

A 行政関連施設や事業でCO₂の発生の大きい部分を占める電気を、全量再生エネルギー100%に切替えることで、2030年度に半減という目標の達成は可能と見込んでいる。

Q 年間8万8千トンと推定する町のCO₂排出量のうち、役場の施設や事業は1.8%にすぎない。家庭、乗用車、商業関係で太陽光発電パネルの普及やソーラーシェアリングなどの潜在力をフルに活かして、2050年の二酸化炭素排出量ゼロを、子孫の世代に約束し、実現を図るべきだ。

A 全体の排出量は減少傾向。世帯数の増加に伴い、家庭部門の排出量は増加。車の台数は増えているが、

EV車や低燃費車の普及で排出量は減少。目標値と実施計画は、町民・事業者と共に丁寧に進める。

◆子育ての3つのゼロを◆

Q 物価高騰下、中井町・大磯町ですでに実施の学校給食無償化、県内未実施が7自治体となった高校卒業までの医療費無料化、国保税の子ども均等割の廃止の「3つのゼロ」の早急な実現を求める。

A 来年度、中学校給食の無償化を実施、小学校の給食費は物価高騰分の補助を継続、医療費無料化は高校卒業まで拡充する。国保税の子ども均等割は、他加入者の負担増につながるため難しい。



ソーラーシェアリングで農業生産と太陽光発電の両立



無所属
大沼 英樹

問

①海面水位も考え流域治水が必要では
②炭焼き会の活動場所確保に支援は

答

①必要に応じ近隣と連携して進めたい
②公平性を保ち支援したい

Q 9月8日、日立市新庁舎は安全な場所としながらも床上浸水し理想から離れた状況となった。葛川の溢水が一時的と認識している様だが、被災者の対策が後手に回り命に関わる。内輪橋周辺は溢水が多く、田代川合流地点の川下は50cm程度狭くなっている。雨量は10%増すと流量は2割増、洪水発生リスクは2倍となり大磯町、中井町を含む流域治水が必要と考えるが、河床掘削で抜本的な改善ができるか。

A 過去10年で2回、平成25年は1時間最大57mmのゲリラ豪雨で溢水。川幅、川底を改善し危険性を軽減すると聞いているが掘削で解決するとは思わない。

Q 下水接続が水害リスクを軽減すると町長は言ったが役場が下水接続していないのはいかがか。

A 現庁舎は接続していないが、新庁舎移転を待つ。

Q 木炭製造を中心に年間延べ1,401名のマンパワーが町の魅力を推進し、こどもの稲作体験は情操教育・耕作放棄地の利用、里山間伐は有害獣危機の縮小・原木椎茸は地場産業にも大きく寄与していないか。

A こどもが水生動物を観察し、自然と接することは重要だと思う。稲作、シイタケの植菌や原木切り出しなど多大な尽力をいただいております。

Q 賃貸借の終了を町から通知されているようだが、重要な活動場所確保や自立運営のために補助金など支援はできないか。

A 町として重要な取組みと認識をしております支援が必要だと考えている。



町借用の活動場所が失われ
有益な活動が危機に瀕する



無所属
小笠原陶子

問

街路樹の植樹計画を作成し、枯れた後の植樹マスの雑草対策し美的に管理せよ

答

植樹計画はない。先進地を研究する。
植樹マスはコンクリートで埋設等対応

Q 町は、街路樹整備について枯れたままでよいのか。街路樹の植樹計画を持って計画的に進めよ。街路樹が枯れた後の植樹マスはごみがたまり、雑草も生い茂る。美的に維持していくための方針と対策はどうか。90代高齢女性から、もう家の前の植樹マスの草むしりができないと相談があった。

A 現時点で町に街路樹の植樹計画はないが先進地を研究中である。街路樹管理は、近年、気象災害が激しさを増し、街路樹の倒木により、道路や電線等に支障も多く、国では、道路緑化技術基準を大幅に改正し道路交通の安全確保により重点を置いた樹種選定、樹木の配置への配慮が基準に盛り込まれ、これまでの量の確保から、安全や快適性に配慮した道路緑化へ基準が変更された。美的に維持していくことは大切だ。現在定期的に巡回してい

るが、今後も強化し維持管理に努める。

Q 枯れた植樹マスは条件が合えば、コンクリートで埋める修繕を修理費等で逐次対応することができるのか。

A まだ方向性というものも定まっていないので、やはり安全性確保ができて小規模であれば対応は可能。

Q 街路樹の購入や愛情を持って管理していくために、寄附によるオーナー制度や維持管理のための街路樹愛護会の設立や支援などの予定はないのか。

A 緑が丘の愛護会が街路樹の手入れをしている。

【要望】先進地を学び、正しい街路樹のルールと計画を決めよ。必要な予算は、計画に沿って集めてくるものである。



街路樹が伐採された後の植樹マスは草が伸び景観悪化

条例改正 温水プールついに閉館

○二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例の一部改正（議案第45号）

〈提案理由〉

二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画（改定追補版）において、二宮町民温水プールは令和7年度までに廃止もしくは他用途への転用を検討している中で、竣工から約30年を迎えた同施設は老朽化が著しく、入館者の安全を確保することが困難となったため、早期廃止することに伴い本条例に必要な改正をする。



賛成13：反対1で可決

条例で定める特に重要な施設を廃止するには、出席議員の3分の2以上の同意が必要で、議長にも表決権がある。（特別多数議決）

〈賛成討論〉

山西プールだけでは、教育の観点からのプール指導や生涯スポーツに関して大変難しい。しかし老朽化が著しく多額の費用負担等を勘案すると廃止は当然のことと考える。よって賛成する。（古谷）

町民の財産である公共施設に対し、予算を確保し長く維持できるように長寿命化に対する適格なメンテナンスを実施して老朽化させないように町民の財産に対し大事に取り扱っていただきたい。（前田）

安全を確保し運営を続けることは難しい。「利用したい」という声が受け止められてきたか。そして、廃止後の方針が明確でないことは問題。水中ウォーキングや学校水泳の機能を保障すべき。（渡辺）

遅すぎ。修繕工事に関する令和2年度補正1千3百万円可決の際の質疑で「再開1年後に廃止の可

能性あり」の答弁。その後も将来のビジョン示さず。この場で今後の有効利用案を示すべき。（松崎）

30年という短期間での廃止は誠に残念。だが、利用者増が見込まれないなか7億円かけて再整備することはあり得ず、町民の期待・要望に沿える新たな施設に早期に生まれ変わることを期待。（野地）

人口減少、少子高齢化は進み、施設の利用者も減少。設立当時と同様の施設の維持は困難。町民の理解を頂きながら、施設の廃止、統合の一貫とし、進める時期と考え賛成。（羽根）

〈反対討論〉

老朽を理由に廃止を繰り返す現町政なので廃止やむ無しとも思うが、高圧電力の契約を止めれば休止も廃止も費用差額はない。今後の利活用方法の検討結果が出てからでも遅くない。（大沼）

総務建設経済常任委員会

・新庁舎整備に求められる機能について

6月議会以降、3回の調査研究会実施。7月26日町長に新庁舎について第一次提言書を提出。

・地域公共交通のあり方について

7月26日調査研究会、8月22日企画政策課長他職員と意見交換。

教育福祉常任委員会

子どもの権利条例制定を目標

に武蔵野市、川崎市の先進事例を研究。10月5日には町内の子ども支援団体のヒアリング。19日にはNPO法人教育活動総合サポートセンター山田雅太氏の学習会を議会内で。武蔵野プレイスを20日に視察。行政含め町ぐるみの学びを進めていきます。

政治倫理推進特別委員会

ハラスメント防止の規定について、内容が決まりました。「目的、議員の責務、申出、申出の受け付け、調査機関、公表・措置、プライバシー保護、研修」です。

目的は「議員間や議員から職員へのハラスメント防止」です。

* * *

12月議会での策定を目指します。

議会だより編集委員会

編集後記

一番暑かった夏も終わり、一日一日と過ごしやすい秋を感じるようになりました。今回の議会だよりは、いかがでしたでしょうか。今後わかりやすくお伝えできるように努めてまいります。

また、皆さまのお声をお聞かせいただきたいので、11月に開催される議会報告会にも、ぜひご参加下さい。お待ちしております。（小林）

議会だより編集委員

委員長 松崎 健
副委員長 野地 洋正
委員 小林 幸子
浜井 直彦
前田憲一郎
善波 宣雄



議会へのメール